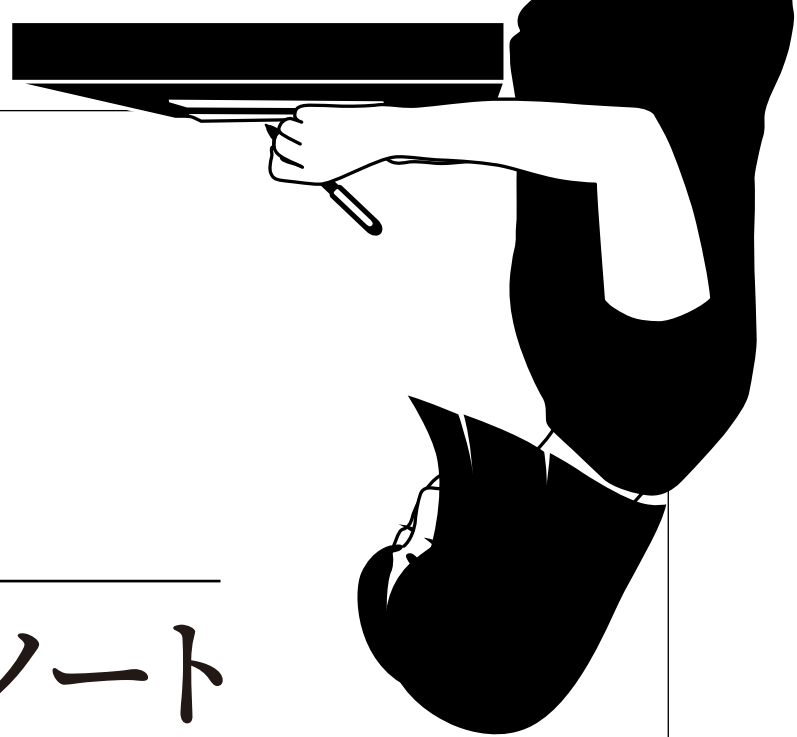


野 観 日
鳥 察 和

野鳥観察ノート

つくりかけラボ
黒田菜月
13



つくりかけラボ
13

黒田菜月

野鳥

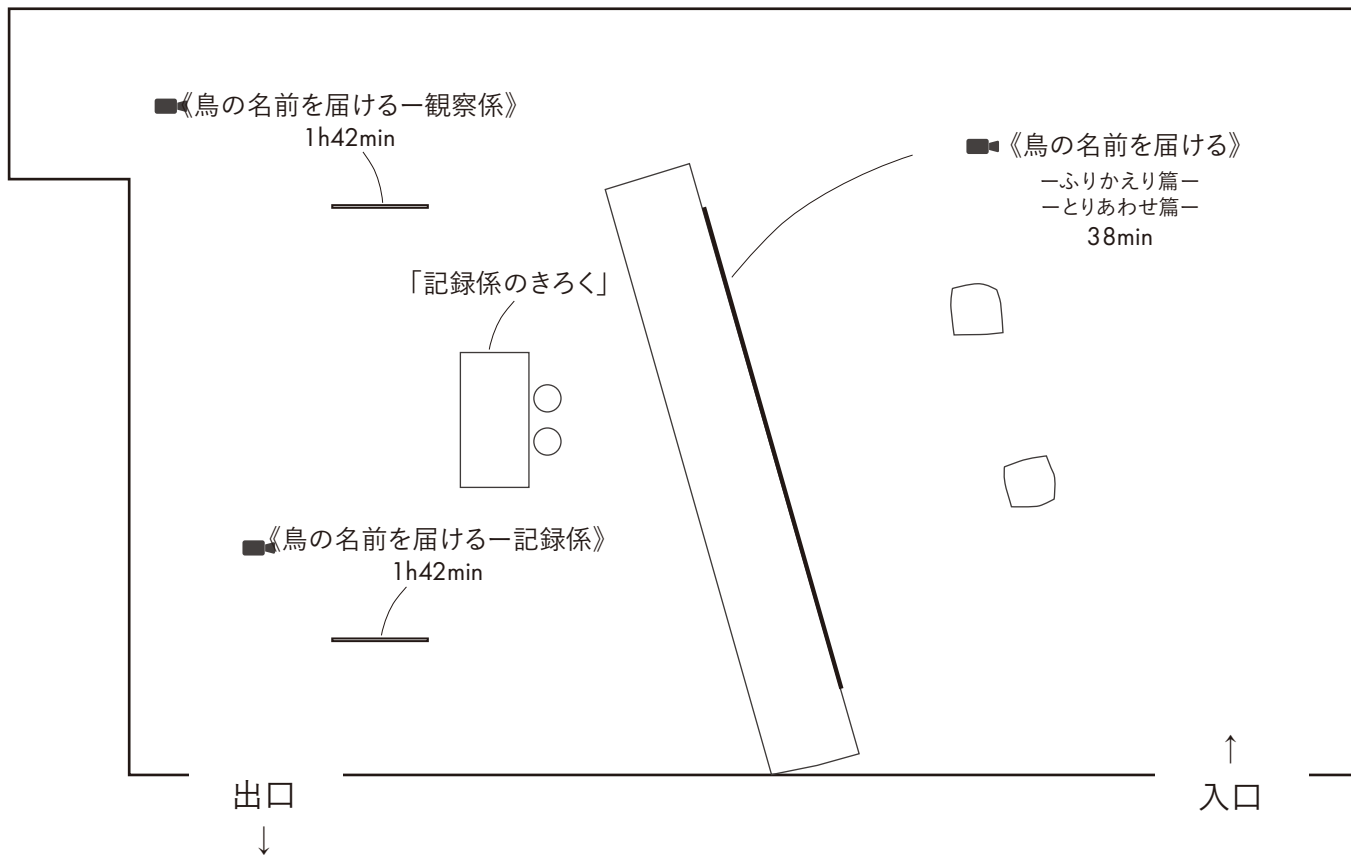
観察

日和

「野鳥観察日和」は……

“野鳥観察”をキーワードに、「見る」ことを考えるプロジェクトです。アーティストは写真家の黒田菜月くろだ なつきさん。会場ではいくつかの映像作品が流れています。映像にうつる人々は、ちょっと変わった方法で野鳥観察をしているよう…。なにかを「見る」というとても身近な行為には、どのような作用や側面があるのでしょうか。会場でさまざまな鳥に思いを馳せながら、いっしょに考えてみましょう。





つくりかけラボでの過ごし方



壁にさわらない



はしらない



飲食禁止



土足 OK



写真撮影 OK



動画撮影 OK
 *長時間の撮影は
 ご遠慮ください

鳥の名前を届ける (2023年)

協力：習志野市谷津干潟自然観察センター



展示室で上映されている映像は、2023年5月21日に、習志野市谷津干潟自然観察センターで開催したワークショップの記録です。ワークショップは、野鳥観察を「観察係」と「記録係」に分けておこなうという、少し変わったかたちで進められました。おたがいをつなぐのは、トランシーバーから聞こえる声のみ。かぎられた状況での野鳥観察は、どのような効果や作用をもたらしたのでしょうか。最初の部屋ではふりかえりの様子が、次の部屋ではおたがいが観察と記録を行う姿が映しだされています。



ふりかえり

べつの場所で活動していた「観察係」と「記録係」がはじめて顔を合わせ、おたがいがそのとき見ていたもの、感じていたことを対話を通して共有します。



とりあわせ

通常の野鳥観察では、その日に観察した鳥を確認しあう「とりあわせ」を行います。それにならって、記録した鳥のなかから、もっとも印象に残った観察記録をひとつずつ紹介しました。



映像を見て気づいたことや感じたことを記録してみよう

記録者		天気		時間	
場所					

.....

.....

.....

.....

.....

.....

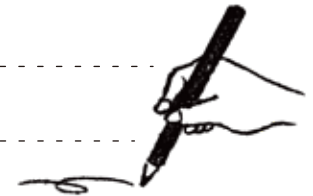
.....

.....

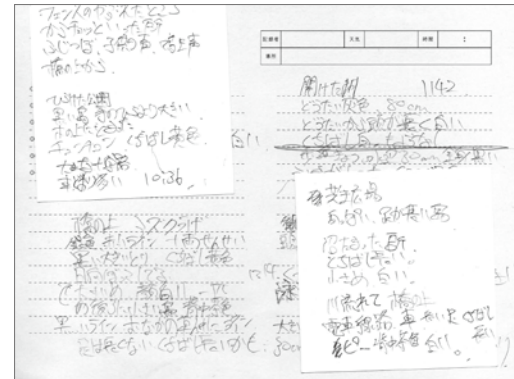
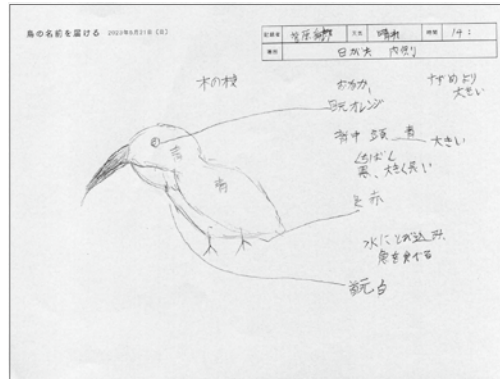
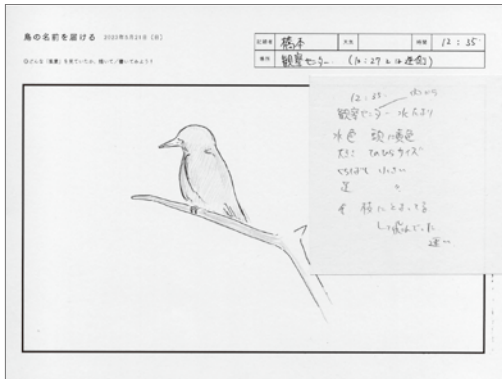
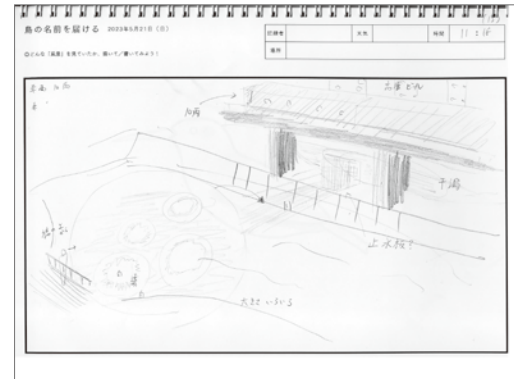
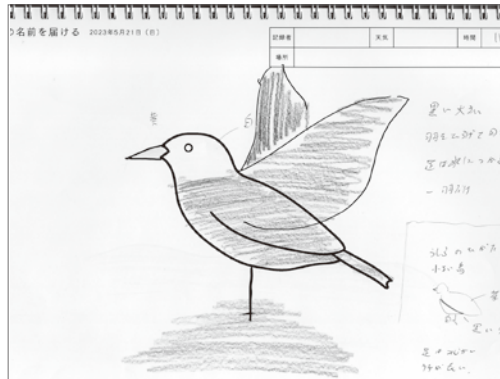
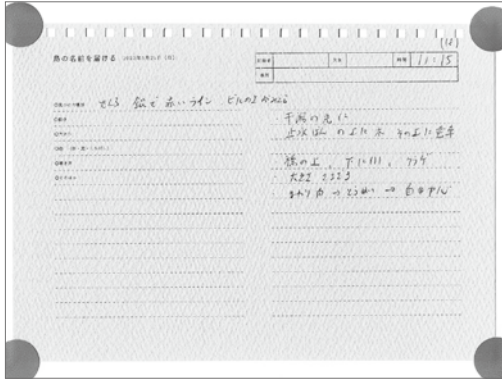
.....

.....

.....



鳥の名前を届ける - 記録係のきろく (2023年)



テーブルの上には、ワークショップで実際に使われた記録用紙とトランシーバーの録音カードがあります。ふたつを見比べて「観察係」と「記録係」がどんな時間を過ごしたのか想像してみましょう。また、つぎのページの記録用紙を使って、会場の映像を見て鳥を記録したり、帰り道に見つけた鳥を記録したり、自分の「記録係のきろく」を残してみましょう。

記録者		天気		時間	
場所					





「つくりかけラボ」は……

アーティストをお迎えし、みなさんと新しい作品をつくるプロジェクトです。作品は、空間をまるごと使った“インスタレーション”で、みなさんは参加したり体験したりすることができます。みなさんのかかわりによって空間が変化していくので、作品はいつも「つくりかけ」。だから「つくりかけラボ」です。

「つくりかけラボ 13 黒田菜月 | 野鳥観察日和」
『野鳥観察ノート』
編集：黒田菜月、千葉市美術館
発行：千葉市美術館

「つくりかけラボ 13 黒田菜月 | 野鳥観察日和」
2023年10月28日[土]～2024年1月28日[日]
主催：千葉市美術館
協力：習志野市谷津干潟自然観察センター
会場設計：井上岳（GROUP）
会場施工：稲永英俊、仁平祐也
横田剛、松浦開
システム制作：曾根貴了



アーティストワークショップ開催日
2023年10月29日[日]、11月12日[日]、11月26日[日]
2024年1月14日[日]、1月28日[日]